



しあわせsun

社協だより

主な内容

- 全老連会長表彰、県社協表彰ほか…………… 2 ページ
- 久慈市社会福祉大会…………… 3 ページ
- 平成27年度福祉作文コンクール優秀作紹介…………… 4～6 ページ
- 寄付・義援金報告、生活復興支援、白樺大学のご案内…………… 7 ページ
- 生活福祉資金、生活あんしん相談室…………… 8 ページ
- 歳末たすけあい運動、除雪支援活動助成金のご案内…………… 9 ページ
- 赤い羽根共同募金助成案内、助成事業報告…………… 10ページ
- お知らせ・ご案内…………… 11ページ
- 介護支援係事務所移転、温水プールのお知らせ…………… 12ページ



つながり、広がる、 ふれあいの輪

サロン栄町

地域の中でご近所同士が集まり、「お茶飲み」や「おしゃべり」などを気軽に楽しみながら交流する『ふれあいサロン』。市内では94カ所（11月末現在）で開催されています。参加者の皆さんは、サロンがある日をとても楽しみにしているようです。

誰でも気軽に参加できる『ふれあいサロン』に、足を運んでみてはいかがでしょうか。



岩瀬張かたくりの会

第44回 全国老人クラブ大会

10月29日開催の「第44回全国老人クラブ大会」において、多年にわたり老人クラブ活動の推進とその育成発展への尽力により、久慈市老連会長の村田東助様が全国老人クラブ連合会長表彰を受賞されました。村田様は県老連副会長も務められるなど、高齢者福祉発展のため精力的に活動されています。

第68回

岩手県社会福祉大会

11月11日開催の「第68回岩手県社会福祉大会」において、多年にわたり社会福祉の増進に貢献された次の方々が表彰されました。

(敬称略)

岩手県知事表彰

◇民生委員・児童委員

蒲野しず子 高畑小三郎

◇社会福祉施設長又は従事者

清川 範子 関橋 由美

◇社会奉仕功労団体

岩手県知事感謝状

◇在宅介護者

岩手県社会福祉大会長表彰

◇社会福祉事業功労者

〔社会福祉協議会役職員〕

〔社会福祉団体役職員〕

島山キエ子

田表 一夫

立成 勝夫

〔在宅援護従事者〕

石羽根孝志
石羽根亮子

◇ボランティア活動功労団体

山根町スノーバスターズ

大川目読み聞かせの会・すきつぷ

◇共同募金運動功労者

工藤 忠藏 中屋敷 進 伊藤 恵子

◇永年勤続功労者

谷地 力夫

第46回

岩手県老人クラブ大会

10月8日開催の「第46回岩手県老人クラブ大会」において、多年にわたり高齢者福祉の増進に貢献された次の方々が表彰されました。

(敬称略)

岩手県老人クラブ連合会長表彰

◇一般表彰

〔老人クラブ育成功労者〕

鹿糠 勇

◇会員表彰

〔老人クラブ育成指導功労者〕

澤里 義美 播磨 孝嘉

◇団体表彰の部

〔優良単位老人クラブ〕

天神堂老人クラブひばり会

白横会老人クラブ

福祉作文コンクール入選作

平成27年度福祉作文コンクールは、市内小中、高等学校から45編の応募をいただき、審査委員会(狩野由紀夫委員長)において、次のとおり入選作が決定されました。(敬称略)

◇小学校低学年の部

〔優秀作〕 侍浜小学校3年 大久保璃子
〔準優秀作〕 小国小学校3年 宅石 一葉
〔佳作〕 長内小学校1年 高屋敷理央

◇小学校高学年の部

〔優秀作〕 小久慈小学校4年 中戸鎖寿奈
〔準優秀作〕 小国小学校6年 下國 力貴
〔佳作〕 長内小学校4年 分道 彩朝
〔佳作〕 小久慈小学校4年 坂本 愛翔

◇中学校の部

〔優秀作〕 大川目中学校3年 小平澤涼華
〔準優秀作〕 大川目中学校3年 茅森 千夏
〔佳作〕 久慈中学校1年 佐々木望愛
〔佳作〕 大川目中学校3年 吉田 圭吾
〔佳作〕 久慈中学校1年 山田 凌大
〔審査委員会特別賞〕 山形中学校3年 大谷地俊哉

◇高等学校の部

〔優秀作〕 久慈東高校2年 田河原 和
〔準優秀作〕 久慈東高校2年 内村 睦美
〔佳作〕 久慈東高校2年 播磨 和歩
〔佳作〕 久慈東高校2年 一本柳 唯

平成27年度 久慈市 社会福祉大会

11月26日、久慈市総合福祉センターにおいて平成27年度久慈市社会福祉大会が行われました。大会には福祉関係者など248名が集い、「すべての市民が、健康で安心して住み慣れた地域で、生きがいを持って生活を送ることができ、地域社会」を実現するために、住民、行政、関係機関・団体が協働して積極的に取り組んでいくことを確認しました。

式典では、多年にわたり社会福祉の発展に貢献された35名(団体)と福祉作文コンクールに入選された児童生徒17名が表彰されました。

また、式典後には、「住み慣れた場所で暮らし続け、豊かに暮らすための地域福祉」と題して、仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科教授の大坂純氏からご講演をいただきました。表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

(敬称略)

久慈市長表彰

◇民生委員・児童委員

大沢つね子

◇社会福祉事業功労者

細谷地諄吉 晴山アイ子 梶谷 勝藏
堀越 政季 橋上 祥子 新里 宜彦
橋本 弘文 小澤 拓也 谷地 忠人

◇広く社会に顕彰する者

櫻庭 松美
Dreamsプロッコリー
長内学童保育所わんぱくクラブ
精神保健ボランティア風ぐるま
小久慈小学校ボランティア委員会

久慈市社会福祉協議会長表彰

◇社会福祉事業功労者

(社会福祉団体役員)

卯道 秀雄 戸崎健次郎

(民間社会福祉施設役員)

泉田 庄吉 中田 由紀

清水川ツマ子 吉田 静子

仲道 里美 仲道 幸子

◇共同募金運動功労者

西 政弘 七十菊良一

越戸 千江 桑畑 貞男

山王 義明 下館 靖

◇褒賞

佐々木フク

藤森 京子
伊藤ミワ子
日當 弥生

工藤 勝男
二橋 修



久慈市長表彰の梶谷勝藏様



大会宣言(案)を朗読する久慈東高校2年 内村睦美さん



大坂純氏による記念講演

平成27年度 福祉作文コンクール 優秀作紹介

えがおが大切



侍浜小学校 三年
大久保 璃子

「どんなお友だちができるかな。」
拓陽しえん学校に行く前は、とてもドキドキしました。交りゆう会をして、はじめてみんなの名前を知れてうれしかったです。手をつないで体育館に行つて、遊んだりおどつたりいろいろなことをしました。拓陽しえん学校の友だちは、みんなやさしくて、どんななかよくなつていきました。

その中で、とくになかよくなつた友だちがいます。それは、Rちゃんです。Rちゃんは、えがおがステキで力の強い女の子です。「なまけんぼうのペーター」をやつても、すぐやめて、ちがうことをする子だったけど、わたしは、そういうRちゃんのことを大好きになりました。話していることが、わからないこともあつたけど、R

ちゃんはいつもえがおで、わたしに話しかけてくれたからです。だから、なんとなく、Rちゃんの話すことが分かるような気がしました。なんだか元気が出てきたのです。

交りゆう会のさいごに、「よさこいソーラン」をおどりました。後ろの方にすわつていたRちゃんは、立ち上がつてどんどんわたしたちの方に、近づいてきました。わたしたちがおどっているのを見て、「すごいな。」と感じたからだと思います。その時も、Rちゃんは、えがおでした。その時わたしは、とてもうれしくて、もつともつとおどりがたくなりました。

Rちゃんのたんじんの先生も、Rちゃんが、してはいけないことをやつても、こわくおこらないで、えがおでやさしくゆう意していました。Rちゃんもえがおになるんだなと思いました。

わたしは、Rちゃんに出会つて、えがおで話すことが大切だなと知りました。十月には、拓陽しえん

学校のみんなが来るので、その時は、えがおでRちゃんに話しかけたいです。

お母さんと話そう



小久慈小学校 四年
中戸鎖 寿奈

私のお母さんは耳が不自由です。私が小さい時からほちよう器を付けて私たち家族と会話をしています。

私は、お母さんは耳が不自由なんだということは小さいころから分かつていました。例えば、私が学校と言うと、

「かつこう？かんこう？ああ、分かつた、学校ね。」

と、三回目ようやく私が何を言つたのか分かるのです。私は、何で分からないんだろうといらいらすることもありました。私は、お父さんにたずねてみたことがあ

ります。

「お父さん、何でお母さんの耳は、聞こえないの。」

「小さい時に聞こえなくなつたんだよ。」

私は、思いきつてお父さんに聞きました。

「ねえ、お父さんはお母さんと結こんしてうれしいの。」

「うれしいよ。こうやつていっしょにくらせるからね。」

お母さんは、耳が不自由なのに、なぜそう思うのだろうと、私は思いました。友達からも、

「お母さんと話がつながらないなんて面どうくさそうだね。」

と言われたこともあります。

でも、私は幸せです。そう思うきっかけがありました。私は去年から手話を習い始めました。わけは、お母さんが年をとるごとに、さらに耳が、聞こえなくなるだろうと言われているからです。私は、もしお母さんが耳が全く聞こえなくなつても、お母さんと話せるように、少しずつでも覚えるために、努力をしています。手話をお

バリアフリーのありがたみを感じて



大川目中学校 三年
小平澤 涼華

ぼえることはかんたんではありませんが、言葉がたくさんあって、おぼえるのは無理だと思ってしまうこともあります。でも、お母さんも手話を覚えるまで私と同じくらい大変だったのかなど気がつきました。私は自分で決めました。自分も努力してお母さんのためにもがんばって手話をおぼえて、お母さんをおうえんしてあげたいなと思いました。今では、もう面どうくさいなんて思いません。だって、大好きなお母さんのために役に立つことが見つかったからです。

私は歌が大好きで歌手になりました。私と思っっています。お母さんに、自分の好きなことを手話で伝えたくて「自分」「歌」「好き」という手話を覚えました。そして、お母さんに手話で話しかけてみました。

「私、歌うことが、好き。」すると、お母さんが答えてくれました。した。

「どんな歌が好きなの。」

お母さんと、初めて手話での会話ができました。お母さんに、自分のしゅみのことを伝えることができ、とてもうれしかったです。

これからも、たくさんの言葉を手話でできるようにになりたいです。そして、お母さんとたくさん話していいこうと思います。

私は中学校に入学し、バスケットボール部に入部した。先輩や同級生の仲間達と目標達成に向け、日々練習に励んでいた。

二〇一三年十月、私はいつものように部活の練習をしていた。その日は床がすべりやすくなっていて、転ぶ人も多かった。突然「ゴリゴリ」という音が私の体に響きわたって転んだ。立ち上がろうとするのだが、足に力が入らず立ち上がれない。心配して近寄ってきた友達から、肩を借りてイスまでなんとか歩いた。すぐに痛みは柔らいだ。しかし膝がどんどん腫れてきて、触ると骨の感触はなかった。とても不安で恐かった。

後日、病院に行き診察を受けた。検査を行い結果は、左前十字靭帯損傷だった。初めは聞いたことがなかったのですが「すぐに治るだろう」と思っていた。だが、このけがを治すため、私は三度の手術を行い、リハビリを含め約一年間の療養生活をし、三度の手術のたび車いすや松葉杖を使った生活となったと

き、私はバリアフリーの少なさに気づいた。まず、学校生活で最も不便さを感じたのは、階段とトイレだった。車いすでは階段をのぼることは出来ないし、松葉杖でのぼるのも非常に危険だと感じた。そんな時、階段の他に車いすや松葉杖でものぼりやすいスロープやエレベーターがあったら、けがなどで不自由な生活をしている人の負担が減ると思った。私を通して

いる中学校のトイレは、和式のものしかない。足をけがする人が多いので、とても困る。一つでもいいから洋式のトイレがあると、とても便利だと思った。学校の他にも、外出していつでもは全然気にならないちょっとした段差も不便だった。車いすに乗っている時もわざわざ誰かに頼んで上げてもらわないと越えられない場所もたくさんあった。車いすを押す側も「大変だろうな」と感じた。

私の祖父は片足が不自由になり、移動を手伝って車いすを押したことがあった。その時段差のある道で、車いすを上げるのが大変で、看護をする人の大変さが少しわかった気がした。やはり、けがをしている人や体の不自由な人のために、なるべく段差はなくすべきだと思う。私はバリアフリーに

注目して町を見た時、点字ブロックが結構壊れているのに気付いた。小学校の頃に授業で、目隠しをし、白杖を持って一人だけで校舎内を歩いたことがある。頼りにするべき点字ブロックが無かったからか、方向感覚を失い、行きたい所と別の方向に歩いていった。これが本当の道路だと思つと恐怖を感じた。視覚障がい者の事故を減らすために、もっとこまめに点検を行うべきだと思う。

そして私は膝をけがしたことで、バリアフリーのありがたみに気づかされ、また、人の心の温かみに触れることができた。手術や入院では、主治医の先生・看護師さんが、私にとつての最も便利な生活を考えたり、優しい声をかけたりして不安を減らしてくれた。学校の中でも、先輩や友達、先生方が、私の生活しやすいように工夫をしてくれたおかげで、けがをする以前と変わらず学校生活を楽しめた。

私はこの経験を通して、辛いことも多かったが、けがをしている人や身体の不自由な人の気持ちかわかるようになったし、新しい視点で町を見ることもでき、自分自身成長することが出来たと思う。町に住む人々が、便利で生活しやすいと思える、居心地の良い町に

出来るよう、これから私も積極的
に協力していきたい。

「相手の気持ちに寄り添って」



久慈東高校 二年

田河原 和

私は高校一年生の冬から、とても楽しみにしているボランティアがあります。毎回、行くたびに私に元氣と勇氣と、思いやりの気持ちを与えてくれる、とても大切にしているボランティアです。そのボランティアは、障がいがある子どもの放課後等デイサービスです。

ボランティアでは、障がいのある子どもたちと関わります。勉強を教えたり、レクを行ったり、遊んだり、いろいろなことを体験させていただきました。初めは障がいがあるということ、どのように関わればいいのか、きちんと話せるかどうかなど、構えてしまい、なかなかうまく関わる事ができませんでした。特に、上手に言葉が話すことができない子とは、どのようにコミュニケーションをとってよいのかわからず、相手が

投げかけてくる言葉に何も返すことができませんでした。障がいがあるから仕方がないと思っていましたが、それは私が何も努力をせず、ただ関わりを諦めてしまっていたのだと思います。

ある時、私が何気なく手に持っていた物をその子に見せてあげると、途端に笑顔になり、私に抱きついてきてくれました。私はとても驚きました。会話でコミュニケーションがとれないから気持ちを通わせることができないのではなく、コミュニケーションをとるには何が必要なのかを考えることが大切だということがわかりました。

また、子どもたちもそれぞれで、話しかけても反応してくれない子もいたり、「あつちに行こう」と声をかけても来てくれない子もいました。一人ひとりの障がいもまったく違い、そしてその時の身体や心の状態で、関わり方も大きく変わるということを理解することができました。私たちも同じで、体調が悪かったり、心が落ち着かないときがあったり、一人にしてほしいこともあると思います。何もかも最初から最後まで頑張る必要はなくて、その子が何かを求めてきたときに、その場にに応じて対応していくことが大切なのだと思

いました。

これまで、私は障がいがあることが何か特別で、自分たちとは違う人たちなのだと考えてきたように思います。感じ方や、生活の仕方、何もかもが自分とはかけ離れた存在なののだと思っていました。それが、きつと偏見や差別という言葉で表されるものなのだと自覚しました。自分とは何か違うから、理解できないから、と関わりや理解することを諦める結果、差別や偏見は社会の中で大きく育っていくのだと思います。ボランティアで何度も顔を合わせるうちに、障がいがあってもなくても、まったく私たちと変わらないということがよくわかりました。特に、水遊び。みんなこれまで見たことのない笑顔で遊んでいました。ひとりが笑うことでみんなが笑われて笑顔になる。ひとりで遊ぶよりも大勢で。それは、普段の私たちの生活とまったく変わらない光景でした。

私は、小学校、中学校、どちらでもずっといじめられていました。悪口を言われたり、グループから外され、ずっと一人でした。親や先生には迷惑をかけたくなくて、何も言わずに自分ひとりで抱え込んできました。いじめや差別は、障がいがある人に対してだけ

のものではありません。私自身が経験してきたように、学校生活や地域の生活の中で、身近で起こっている問題だと思えます。理解されなかったり、自分は人とは違うと感じることで、自分を追い詰めてしまうこともあると思います。そんなときには、どうすれば相手を理解できるのか、何に困っているのか、相手の気持ちを想像することから始めることが大切だと思います。

ボランティアを通して、私は過去の自分と向き合うことができ、前を向いて歩く勇氣をもらいました。高校で、特に介護福祉系列で、障がいがある人、高齢者、子どもとの関わりから、改めて知ることがあったり、考えたりすることが多くありました。家族での会話も増えたり、相手を大切にしようと思う気持ちをより強く持つことができました。辛かった過去に比べて、「幸せだな」と感じる事がたくさんあります。多くの人が私のように「幸せだな」と感じる事ができる社会にしていくために、私自身ができることを頑張って生きたいと思えます。

ご寄付ありがとうございました

(平成27年10月から平成27年11月まで)

◆福祉基金

- 昭和45年度久慈中学校卒業還暦を祝う会
..... 30,000 円
- 産業まつり出品者一同 7,720 円
- 麦っ娘 5,000 円
- 匿名..... 1,710 円



福祉基金にご寄付くださった昭和45年度久慈中学校卒業還暦を祝う会の皆様

～災害義援金受入状況～

(11月27日現在)

今年度、各地で様々な被害をもたらした次の災害に対して、市民の皆様からご協力をいただきました。

お寄せいただいた義援金は岩手県共同募金会を通じて被災地へ届けられます。

ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

- ネパール地震災害福祉活動支援募金
2件 250,000円
- 平成27年度台風第18号による大雨等災害義援金
1件 1,000円

◇◇◇◇ 災害義援金受付中 ◇◇◇◇

- 屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金
(平成27年12月25日まで)

生活復興支援のご案内

■生活復興支援資金の貸付

- 被災した所得が少ない世帯が対象で、住居の移転費、家具什器等購入に必要な経費の貸付です。

■ボランティアの派遣 (ボランティア活動センター)

- ボランティアが引っ越しや掃除などをお手伝いします。

■生活支援相談員による訪問とサロン活動

- 訪問活動
相談員が被災された世帯を訪問し、体調の変化や心配ごとなどをお伺いしています。お電話での相談はもちろん、ご希望に合わせて訪問いたしますので、お気軽にご連絡ください。
- サロン活動
市内10カ所(湊町上、湊町中下、元木沢、二子、玉の脇、夏井駅前・大湊、半崎、久喜、小袖、サロンここから)で開催しています。サロンでは、血圧測定や個別相談、語り合い、簡単な体操などを行っています。地区の回覧板等でご案内しています。お気軽にご参加ください。

お問い合わせは社協までお気軽にご連絡ください。社協本所 ☎53-3380

高齢者講座「白樺大学」のご案内

【大川目地区学級】

- ◇日時 12月11日(金)
午前の部 9時30分～
午後の部 13時30分～
- ◇会場 大川目公民館
- ◇内容 「しめ飾り講習会」
- ◇参加費 材料代 500円
- ◇定員 午前・午後各25名

【河南地区学級】

- ◇日時 1月19日(火)
13時30分～
- ◇会場 中央公民館
- ◇内容
講演「いわて国体に向けて」
講師：久慈市国体推進課
- ◇参加費 無料
- ◇定員 40名

【閉講式・全体学習会】

- ◇日時 2月26日(金)
閉講式 9時30分～
全体学習会 10時00分～
- ◇会場 久慈市総合福祉センター
- ◇内容 講演「調整中」
- ◇参加費 無料
- ◇定員 100名

◆申込み 各講座開催日の1週間前までに社協本所☎53-3380へ 人数が多い場合調整させていただくことがあります。

生活福祉資金のご案内

所得が少ない世帯、障がい者がいる世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、社協が窓口となって無利子または低利子（年1.5%）で資金をお貸しします。

総合支援資金



失業や収入の減少により、世帯の生活の維持が困難な場合に、生活の立て直しのための貸付資金です。

生活支援費…生活再建までの間に必要な生活費用（二人以上一月20万円以内、単身一月15万円以内）
一時生活再建費…生活を再建するために一時的に必要なかつ日常生活費で賄うことが困難である費用（60万円以内）

借入
ケース例

就職するまでの生活費が足りない。住宅の賃貸契約の費用が足りない。など

福祉資金 緊急小口資金



緊急かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった場合の貸付資金です。（10万円以内）

借入
ケース例

医療費または介護費など、臨時の生活費が足りない。火災等の被災によって生活費が必要。など

不動産担保型 生活資金



今お住まいの居住用不動産を担保とした生活費の貸付資金です。
※高齢者世帯が対象です

■「連帯保証人」が必要です。ただし、連帯保証人を立てられない場合でもご利用できますが、利子が増算されます。（緊急小口資金・教育支援資金は、連帯保証人は不要です）貸付限度額、返済方法は資金の種類によって異なりますので、詳しくは社協にお問合せください。

久慈市社協 本所 ☎ 53-3380 / 山形事務所 ☎ 72-2800

福祉資金 福祉費



借入
ケース例

福祉機器の購入や、商売・結婚・出産・葬儀・引越・住宅改修等の経費、また日常生活上一時的に必要な費用等の貸付資金です。※貸付限度額については、お問い合わせください。

商売を始めたい。技能資格をとりたい。結婚・出産・葬儀の費用が足りない。引越の費用が足りない。住宅の増築、改修、補修等に必要経費。医療費が足りない。など

教育支援資金



高校、大学、短大、専門学校への就学に際し、入学金・制服等の入学経費と、授業料・通学定期代等の修学経費の貸付資金です。

教育支援費…高等学校、大学等の授業料や修学に必要な経費（高等学校…月額3万5千円以内、大学…月額6万5千円以内）
就学支度費…高等学校、大学等への入学に際し必要な経費（貸付限度額50万円以内）

総合支援資金・緊急小口資金

原則として、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業等の利用が要件となります。
※緊急小口資金：一定の安定した収入があり、一過性の自由により資金を必要としている場合等を除く。

福祉資金福祉費・教育支援資金

世帯の状況に応じて、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関等の支援を利用いただくことがあります。

～生活困窮者自立相談支援事業～（久慈市から久慈市社協が事業を受託しています）

『生活あんしん相談室』のご案内

生活に困っている方は、誰でも相談できます。（生活保護受給者は除きます。）
経済的な問題で生活に困っている人、失業している人、引きこもりやニートで悩んでいる人、働いた経験がなく不安な人など、生活や仕事の悩みを抱えている方は、どなたでもご相談ください。



身近な相談窓口です ひとりで悩まずご相談ください。一緒に解決する方法を探しましょう。

【お問い合わせ】

久慈市社協 ☎ 53-3380・53-3377

※ 土日、祝日の相談を希望する場合は、事前に予約をお願いします。

・相談は無料です。
・個人情報を守ります。



歳末たすけあい運動にご協力をお願いいたします!

今年も12月1日から12月31日まで『つながり ささえあう みんなの地域づくり』をスローガンに「歳末たすけあい運動」が全国一斉に行われます。

戸別募金につきまして、奉仕者(行政連絡区長さん)を通じお願いいたしますので、**1世帯300円**を目安としてご協力をお願いします。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

また、例年、職場・学校・グループ等からも広くご協力をいただいております。今年もよろしくごお願いいたします。なお、募金は久慈市共同募金委員会(久慈市総合福祉センターまたは山形老人福祉センター内)で受け付けています。

久慈市共同募金委員会

●久慈市総合福祉センター ☎53-3377

●山形老人福祉センター ☎72-2800

……………みなさまから寄せられた募金は次の方々に激励金としてお届けいたします!……………

- ◇寝たきりまたは日常的に介護を必要とするお年寄り(65歳以上)
- ◇一人暮らしのお年寄り(75歳以上)
- ◇知的障がい(児)者の方
- ◇身体障がい(児)者1級・2級の方
- ◇精神障がい者1級・2級の方

昨年度は4,237,738円の募金が寄せられ896名の方々に激励することが出来ました。今年もご協力をお願いいたします。対象者の調査は地域の民生委員さんをお願いしておりますが、いずれも所得が少ない世帯が対象となります。(※生活保護世帯は対象外となります。)対象と思われる方は、地域の民生委員または社協(☎53-3380)までお問い合わせくださるようお願いいたします。



町内会等除雪支援活動助成金のご案内



高齢や障がい等により自力で除雪をすることが困難な世帯(以下「除雪要支援世帯」という。)に対して、町内会等の団体が行う除雪支援活動に助成します。

★対象団体

市内の町内会、自治会、ボランティア団体等で、除雪作業に従事できる構成員が5名以上の団体

★対象となる活動内容

除雪要支援世帯(高齢や障がい等により自力で除雪をすることが困難な世帯)に対して除雪機を使用した除雪支援活動(国、県、市管理道路は除きます。)

★対象となる活動の期間

平成27年12月1日(団体登録後)～平成28年3月31日

★助成額

1回の活動あたり3,000円で、助成の対象となる活動期間中5回(15,000円)を上限とします。

※ 助成総額75万円。助成団体が50ヶ所を超えた場合は、助成額を調整することがあります。

※ 活動区域が複数の町内会区域となる場合は、1町内会区域を1回の活動として助成金を交付します。

※ 助成総額(75万円)に達した時点で、今年度の助成は終了します。

★助成金の対象経費

対象となる活動を実施するために必要な経費

【例】ガソリン代、ボランティア保険料、活動資材・消耗品等購入費など

★応募方法

助成を希望する団体は、活動を実施する前に「助成金交付団体登録申請書」と「団体の活動内容が分かる資料(会則や会報など)」を社協に提出してください。

※ 申請書は社協ホームページからダウンロードできます。また、ご連絡をいただければお送りします。

★応募受付期間

平成27年11月2日(月)～平成28年2月29日(月)

★助成金交付の流れ

団体登録の申請 → 登録完了(社協から通知) → 団体登録完了後、支援活動を実施 → 実施報告書を社協に提出 → 報告書類の審査 → 助成金交付(3月・4月)

【お問い合わせ：社協本所 地域づくり支援係 ☎53-3380】

平成28年度久慈市共同募金委員会助成事業のご案内

久慈市共同募金委員会では、住民参加によるコミュニティづくりの推進を目的に、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」活動を支援するため、住民を対象として行う地域での福祉活動に助成します。

事業実施対象期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

対象団体：ボランティア団体、町内会、ふれあいサロン運営団体等の住民グループ

対象経費：住民を対象として行う地域での福祉活動に要する経費

助成額：1～10万円（千円単位：助成総額30万円）

応募方法：助成事業申請書を久慈市共同募金委員会に提出してください。申請書は、総合福祉センターで配布するほか、久慈市社協ホームページからダウンロードできます。

応募受付期間：平成27年12月15日まで

助成決定：平成28年4月

問い合わせ先：久慈市共同募金委員会 ☎53-3377



福祉のまちづくり支援助成事業の助成が決定しました

平成27年度に岩手県共同募金会から市内の2団体が、住民に向けた福祉サービスを行う団体等を支援する「福祉のまちづくり支援事業（平成26年度の赤い羽根共同募金による助成事業）」の助成を受け備品を整備することが決定しております。

○ こはくのまちの保健室：京の森（代表 大橋 泰子）

整備品：電子血圧計（2台）、電子塩分計

○ ばあばカフェ：小久慈町（代表 川代 美智子）

整備品：オーブンレンジ、炊飯器（一升炊き）ほか

住民支え合い活動助成事業の報告

平成26年度に岩手県共同募金会から市内の9団体が、被災者の生活支援や地域復興に向けた取り組みを支援する「住民支え合い活動事業」の助成を受け、次の事業を実施しました。

団体名	地区	代表者名	事業名
横沼たんぽぽの会	侍浜町	田 中 和 子	世代間交流収穫祭ふれあいサロン
サロン森	大川目町	馬 内 寛 一	介護（認知症）予防事業
ふれあいサロンかかしの会	侍浜町	中 佐代子	ふれあいサロン
きずなサロン	大川目町	根 井 義 男	ふれあいサロン
さくらの会	夏井町	三 上 美 穂	サロンさくら交流会
山根町青少年健全育成会	山根町	松野下 富 則	山根を元気にするコンサート
中組町内会	湊町	山 崎 毅	中組町内会交流会
湊町中下公民館	湊町	七十 莉 良 一	湊町中下公民館町民親睦交流会
向町さくら会	侍浜町	越 戸 羚 子	健康増進・住民交流事業

「しあわせSUN」 つどいのひろば行事予定

- ・絵本読み聞かせ「よんで！よんで！！」
12/4 (金)・1/22 (金)・2/5 (金)
 - ・スマイル子育て相談会
12/11 (金)・1/15 (金)・2/12 (金)
 - ・親子あそびの講習会「SUNSUNひろば」
12/18 (金)・1/8 (金)・2/19 (金)
 - ・まちの保健室（健康相談）
12/18 (金)・1/8 (金)・2/8 (金)
- ◇時間 いずれも10時30分～
（まちの保健室のみ10時～）

※行事予定は変更になる場合がありますので、ご確認をお願いします。

◆連絡先 しあわせSUN ☎61-3933 ※火曜日は定休日です

介護支援専門員の募集

介護支援専門員（嘱託職員）を1名募集します。

- ◇給与月額：137,600～214,300円
 - ◇勤務時間：8時30分～17時15分
 - ◇休日：土、日、祝日、年末年始
 - ◇勤務場所：久慈市総合福祉センター内
介護支援係
 - ◇雇用開始日：平成28年4月1日から
労働条件等の詳細は、社協にお問い合わせくださるか、ハローワークでご確認のうえ、ご応募ください。
- ◆問合せ 社協本所 ☎53-3380

「年末年始の休館日」のお知らせ

次の期間、休館いたします。お問い合わせは各施設へ。

12月29日(火)～1月3日(日)

- ・久慈市総合福祉センター ☎53-3377
- ・山形老人福祉センター ☎72-2800
- ・ふくしサロン「しあわせSUN」 ☎61-3933
※総合福祉センターは1/4(月)通常休館日

12月28日(月)～1月2日(土)

- ・屋内温水プール ☎53-9292
1/3(日) 臨時開館（初泳ぎ）
1/4(月) 通常休館日

歳末たすけあい芸能大会

- ◇日時：12月6日(日) 12時30分～(開場 正午)
- ◇会場：久慈市文化会館「アンバーホール」大ホール(川崎町)
- ◇入場料：一般 500円、小中高 300円
入場券は、総合福祉センター等で販売中。
- ◆問合せ 社協本所 ☎53-3380
※益金は、歳末たすけあい募金に充てられます。

歳末たすけあいチャリティ演芸会

- ◇日時：12月13日(日) 12時30分～(開場 正午)
- ◇会場：久慈市山村文化交流センター
「おらほーる」(山形町)
- ◆問合せ 社協山形事務所 ☎72-2800
※入場料は無料ですが、お花(義援金)の受付を置き、ご来場者の皆様にご協力をお願いしています。寄せられたお花は、歳末たすけあい募金に充てられます。

ニュースポーツ交流会

- ◇日時：平成28年1月22日(金) 10時～11時30分
- ◇場所：山形老人福祉センター
- ◇内容：実技「スポーツ吹矢他」
講師 社協職員
- ◇参加対象：市内に居住している中、高齢者
- ◇参加費：無料
- ◆申し込み：平成28年1月15日(金)までに
社協山形事務所 ☎72-2800

マナーアップ教室

- ◇日時：平成28年2月19日(金) 13時30分～15時
- ◇場所：山形老人福祉センター
- ◇内容：講話「知っておきたい冠婚葬祭マナー～葬祭マナー編～」
講師 野場造花仏具店 専務 野場秀輝氏
- ◇参加対象：市内に居住している中、高齢者
- ◇参加費：無料
- ◆申し込み：平成28年2月12日(金)までに
社協山形事務所 ☎72-2800

認知症の人と家族のつどい

みんなで悩みを共有しませんか？
認知症になると本人も家族も不安でいっぱいだと思います。病気のことや介護について語り合うことで、仲間づくりやストレスを解消する集まりです。参加料は無料です。お気軽にお問い合わせください。

- ◇日時：平成28年1月8日(金) 13時30分～15時30分
- ◇場所：元気の泉
- ◇参加料：無料
- ◆問合せ 川向幸子 ☎72-2159

社協介護支援系の事務所移転のお知らせ

総合福祉センター健康増進室ご利用の皆様へ

平成28年4月1日から当協議会介護支援系は、「元気の泉(旭町8-100-1)」から「久慈市総合福祉センター(旭町7-127-3)」に事務室を移転します。

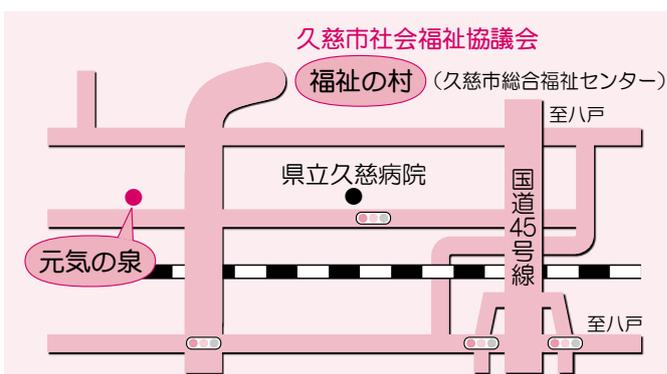
移転することで、ご不便に思われる方もいらっしゃると思いますが、これまで以上に職員が皆様のところにお伺いする形で介護に関する相談などの対応を行って参りますので、よろしくお願いいたします。

また、4月1日から久慈市総合福祉センター健康増進室を当協議会介護支援系の事務室として使用することになりますが、健康増進室にあるトレーニング機器は、使用できるものを展示室(健康増進室前のスペース)に移動し、無料でご利用いただけるようにします。

今後、事務所移転に伴う工事等のため、ご利用できない期間が発生します。日時が決まりしだい改めてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ

- 社協介護支援系 ☎61-1554
- 総合福祉センター ☎53-3377



福祉の村屋内温水プールからのお知らせ

お得な入場券を販売中!

次の入場券を販売中です。ぜひ、ご利用ください。

「1カ月シニアフリーパス券」

- ◎販売期間 平成28年2月29日(月)まで
- ◎対象・料金 60歳以上の方 4,500円
- ◎有効期間 購入日を含む 30営業日有効(休館日は含みません。)
- ◎その他 成人スイミング等の自主事業にも使用できます。(親子スイミングを除く。)

「ファミリー割引入場券」

- ◎販売期間 平成28年3月31日(木)まで
- ◎対象 保護者(18歳以上)1名と小学生以下1名までのご利用
- ◎入場料 500円

「年末年始休館」のお知らせ・「初泳ぎ」を開催します

平成27年12月28日(月)～平成28年1月2日(土)まで休館します。

1月3日(日)は「初泳ぎ(無料開放と餅つき体験)」を開催します。

- ◎初泳ぎ 日時 平成28年1月3日(日) 午前10時～午後4時
- 餅つき体験 1回目10:30～、2回目12:00～、3回目13:30～

「成人スイミング」のご案内

- ◎日 時 平成28年1月29日～平成28年3月25日までの毎週金曜日(3月4日を除く。計8回)
午後1時45分～午後2時45分
- ◎入場料 1教室につき500円(指導料は無料)
- ◎対象・定員 18歳以上・20名
- ◎申込 当日申込み可

「親子スイミング」のご案内

- ◎日 時 平成27年12月19日(土)、平成28年1月23日(土)、2月27日(土)、3月26日(土)
午前10時30分～午前11時30分
- ◎対象・定員 就学前児童(3歳～6歳)とその保護者
開催日ごとに10組
- ◎入場料 1教室につき500円(指導料は無料)
- ◎申込 当日申込み可



お問い合わせ 福祉の村屋内温水プール ☎53-9292